

# KAKEHASHI

## 病院機能評価を受審しました！

2025/9/24-2025/9/25

／ みなさん、お疲れ様でした！ ／



病院機能評価の受審は多くの職員にとって初めての経験でした。何から始めてよいか戸惑いながらも、診療・看護・コメディカル・事務など、全部門で見直しやマニュアル整備に取り組みました。約1年半前にプロジェクトチームを立ち上げ、他院見学や模擬審査を重ね、全職員で準備を進めました。その結果、環境整備や規程の見直し、チーム医療の推進、カルテ記載の標準化など多くの成果を得ました。受審当日は緊張の連続でしたが、自部署アピールもしっかり行い、職員一人ひとりの努力が病院全体の成長とチームワークの強化に繋がりました。

今後も「患者さんから選ばれる病院」を目指して取り組みを続けて参ります。

### 病院機能評価とは？

病院機能評価は病院の質改善活動を支援するツールです。日本の病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的、科学的・専門的な見地から評価を行います。

病院機能評価 HP より引用  
<https://www.jq-hyouka.jcqh.or.jp/about/summary/>

## トピックス

- 病院機能評価 実施報告
- 診療科紹介
  - 一整形外科
  - 一泌尿器科
- 特定看護師の活動



## CHECK !

公式 SNS やってます！

フォロー・チェックをお願いします。



JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院

## 診療科 紹介

# 整形外科

## 関節・脊椎・骨折を中心に地域の健康をサポート

当院整形外科では、関節や背骨（脊椎）の病気、そして転倒などによる骨折を中心に、幅広い診療を行っています。膝や股関節の痛み、腰や首のしびれなどの加齢による症状から、スポーツや日常生活でのけがまで、地域の皆さまの「**元気に動ける力**」を支える医療を目指しています。

## 6名によるチーム体制

整形外科には現在6名の医師が在籍し、それぞれが専門分野を生かしてチームで診療にあたっています。特に**脊椎疾患・下肢の人工関節手術・骨折治療**を三本柱としており、確実な診断と丁寧な手術、早期の社会復帰を目指したリハビリに力を入れています。脊椎と人工関節は専門外来を開設しております。骨折では、救急対応から手術、リハビリまでを一貫して行う体制を整えています。

前列左より、大河内誠、佐藤雅経、川島雄二

後列左より宮本峻平、宮川秀俊、飯塚 桓

＼ 患者さん一人ひとりに寄り添う診療を大切にしています ＼



整形外科 常勤医師

## 「治す」から「防ぐ」へ 骨折リエゾンサービス（FLS）



近年、当科では**骨折リエゾンサービス（FLS：Fracture Liaison Service）**にも積極的に取り組んでいます。これは、骨粗しょう症による骨折をきっかけに、再び骨折しないよう支援する仕組みです。一度骨折を起こすと、次の骨折が発生する確率が非常に高まることが分かっています。整形外科を中心に、リハビリテーション科、看護師、薬剤師、栄養士など多職種が連携し、骨密度検査や薬物治療、生活指導を行います。「骨折を治す」だけでなく、「骨折を防ぐ」ことを目標に、地域全体で取り組みを進める拠点の役割を担います。



骨密度測定：骨折を予防するために骨の強さの「見える化」を行います



地域の皆さまへ



これからも当院整形外科は、専門性の高い丁寧な医療を提供することを心掛けていき、皆さまの健康と生活を支えてまいります。気になる症状や心配ごとがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



JCHO 横浜保土ケ谷中央病院



## 診療科 紹介

# 泌尿器科

### 診療内容・特徴

尿路結石、排尿障害などの泌尿器領域の良性疾患を中心に、泌尿器癌、男性不妊まで幅広く対応しています。  
病診連携のみならず、近隣の病院の泌尿器科との病々連携も密に行っています。  
特に、急に日常生活のADLに問題をきたす尿管結石については、早期の確実な治療を心がけています。



### 腎・尿管結石の治療

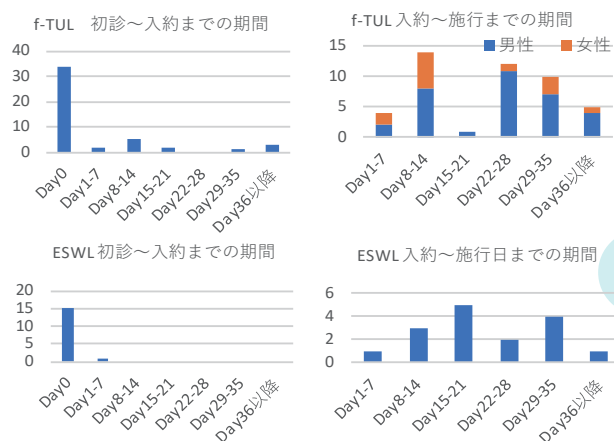
尿管結石は急激に発症します。結石が尿路を閉塞することにより疼痛が出現、診断はCTやレントゲン、エコーなどで行います。治療は、小さい結石では自排石をまつこともありますが、**衝撃波で結石を破砕（ESWL）**や**内視鏡的な手術（f-TUL）**などがあります。多くの症例では、当日にCTなど診断のうえ、自排石を待つ症例以外、多くの症例で受診当日に治療の予定をたてています。治療方法は、結石の状態や社会的状況、ご希望などにより治療方針を決定しています。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経尿道的尿路結石碎石術(f-TUL)	82	82	85	68	87
体外衝撃波結石破砕術(ESWL)	42	25	23	31	27

### 日常生活への影響を考慮した治療選択

疼痛が断続的に出現する可能性があるため、日常生活に影響のある良性疾患である尿路結石は、可能なら早期の治療が望ましいです。ですが、良性疾患であるがゆえに、**休暇の取得などの社会的状況も考慮した治療選択**をとることが可能です。

当院では、早期に治療を希望の方は、早ければ当該週末または翌週の治療を行っています。社会的な希望や併存合併症等により、3 - 4 週後に治療をすることも多く、二峰性となっています。（2022 年度調べ）



### 新たな取り組み

2024 年より、f-TUL 後の尿道カテーテル留置で疼痛を感じる事が多い男性のうち、排尿障害のない、60 歳以下かつ術前や術中に問題のない症例に対して、**カテーテルの留置をしない取り組み**を開始しています。



# 院内活動

## 特定看護師5名活動開始！

当院は、厚生労働省の『看護師の特定行為に係る指導者等育成事業』実施団体である JCHO 病院の一つとして**看護師特定行為研修**を実施し、5名の特定行為看護師が誕生しました。



カテ室での研修の様子



**特定行為研修にあたっては、**

**医師の指導が必須です**

院内では各診療科の指導医をはじめ、手術室での麻酔科医の指導、また外部指導者として**小林内科・循環器クリニック**（羽沢横浜国大前）**院長 小林 俊一 先生**のご協力のもと無事研修を終えることができました。



**7月より医師の診療補助として**

**以下の特定行為活動を開始しました**

1 区分：動脈血液ガス関連

2 行為：①直接動脈穿刺法による採血      ②橈骨動脈ラインの確保



**9月より RRS(Rapid Response System) 院内迅速対応システムの**

**プレ活動を開始しました**

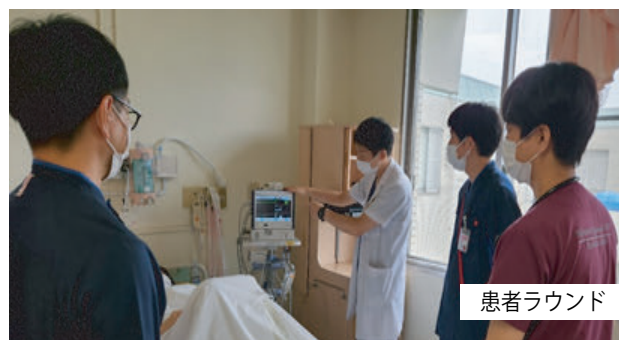


ラウンド前のミーティング

医師と特定行為看護師がチームとなり、**RRS**のプレ活動が開始しました。多くの急変事例には前兆があるという点から、HCU 入室患者、HCU 退室後1週間以内の患者および各病棟で、「なんか変だな」、「ちょっと心配だな」と思う事例の相談に対応することにしています。診療科の垣根を越えて、患者様の安全を第一に活動していきます。



病棟ラウンド



患者ラウンド



独立行政法人地域医療機能推進機構  
**横浜保土ヶ谷中央病院**

発行：横浜保土ヶ谷中央病院 広報委員会

〒240-8585 横浜市保土ヶ谷区釜台町 43-1

TEL：045-331-1251（代表） FAX：045-331-0864